

インターネットでの情報提供
提供予定日 3月22日

資料提供予定日	平成17年3月18日(金)		
所属課室	担当者職氏名	電話番号(内線)	
大気環境室	課長補佐 平田 邦保	2691	

平成15年度PRT Rデータの概要について
- 化学物質の届出排出量・移動量の集計結果の概要 -

届出事業所数、届出された排出量・移動量は昨年度に比べて増加

本年度から届出を必要とする事業所の要件が拡大されました。
(個々の物質について、年間取扱量 5 t以上 1 t以上)

国(環境省・経済産業省)は化学物質排出把握管理促進法(PRT R法)の届出制度に基づく平成15年度の第1種指定化学物質の排出量・移動量の全国集計結果を公表しました。これに合わせまして、岐阜県におけるそれらの状況を次のとおり公表します。

〔排出量：環境中(大気、公共用水域、土壌、事業所内への埋立)への排出量〕
〔移動量：事業所の外(廃棄物、下水道)への移動量〕

	岐 阜 県	全 国 状 況	全国に占める割合
届出事業所数	987事業所	41,079事業所	2.4%
届出物質数	133物質	334物質	-
届出排出量	10,487 t	290,508 t	3.6%
届出移動量	4,842 t	239,556 t	2.0%
届出排出量・移動量計	15,329 t	530,064 t	2.9%

県内での第1種指定化学物質の届出排出量・移動量の状況(年度比較)

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	対前年比
届出事業所数	816事業所	773事業所	987事業所	128%
届出物質数	118物質	114物質	133物質	-
届出排出量	8,996 t	7,454 t	10,487 t	141%
届出移動量	3,509 t	3,457 t	4,842 t	140%
届出排出量・移動量計	12,505 t	10,911 t	15,329 t	140%

PRT R : Pollutant Release and Transfer Register (環境汚染物質排出・移動登録)
化学物質排出把握管理促進法：
平成11年7月公布された「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」いわゆるPRT R法

1 P R T R 制度施行の経緯

平成 11 年 7 月	化学物質排出把握管理促進法の公布
平成 14 年 4 月	平成 13 年度の年間取扱量 5 t 以上の事業者による排出量等の届出開始
平成 15 年 3 月	国による平成 13 年度排出量・移動量に係る集計結果の公表 平成 13 年度届出情報開示請求制度の開始
平成 16 年 4 月	平成 15 年度の年間取扱量 1 t 以上の事業者による排出量等の届出開始
平成 17 年 3 月	国による平成 15 年度排出量・移動量に係る集計結果の公表 平成 15 年度届出情報開示請求制度の開始

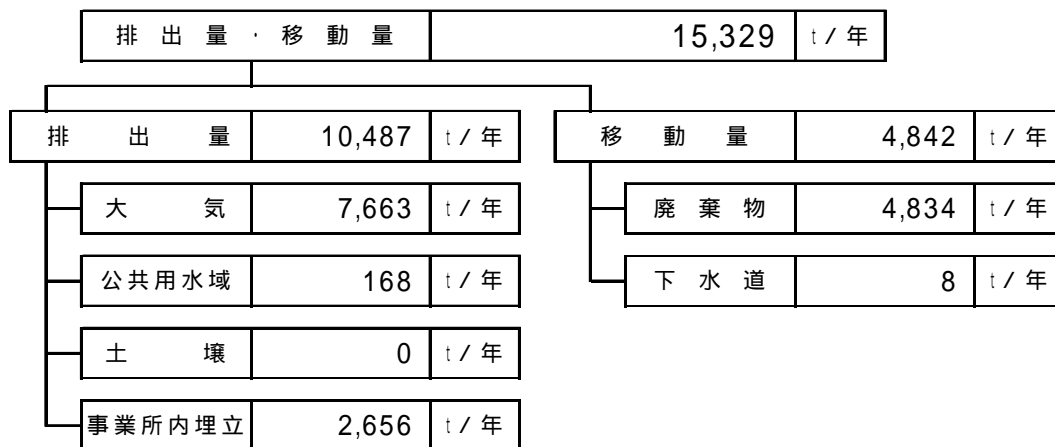
2 P R T R 制度の概要

- (1) 対象化学物質 第 1 種指定化学物質 354 物質
 < 第 1 種指定化学物質 >
 次のいずれかの有害性の条件に当てはまり、かつ環境中に広く継続的存在すると認められる化学物質
 ・人の健康や生態系に悪影響を及ぼすおそれがある
 ・自然の状況で化学変化を起こし容易に有害な化学物質を生成する
 ・オゾン層破壊物質
- (2) 届出対象事業所 法に定める 23 業種を営む) 事業者の事業所のうち
 従業員数 21 人以上
 事業所での各物質ごとの年間取扱量が 1 t 以上の事業所
 (一部物質については 0.5 t)
- (3) 開示請求手続き 個別事業所のデータの開示を希望する場合は、環境省、経済産業省の
 P R T R 開示窓口 に直接請求することができます。
 開示請求手続きについては、環境省 HP (下記参照) に掲載されています (全国の個別事業所のデータが入った CD-ROM (1,100 円) が購入できます)。
 環境省 HP 開示手続案内 <http://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html>

3 岐阜県内の届出集計結果まとめ

(1) 届出排出量・移動量

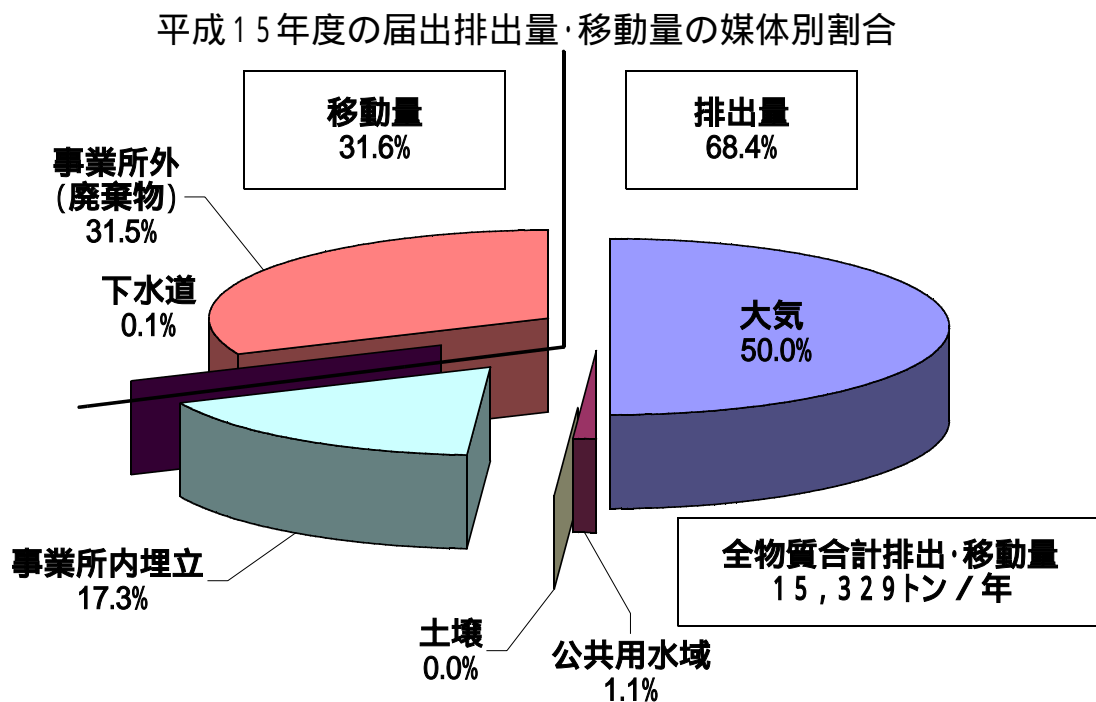
県内の届出排出量・移動量は、15,329 t (対前年度比 140%増) で、届出物質数は 133 物質であった。届出排出量及び届出移動量は、それぞれ 10,487 t (対前年度比 141%増)、4,842 t (対前年度比 140%増) であった。
 届出排出量は、大気中への排出量が 7,663 t (73.1%) とその大半を占め、事業所内への埋立量が 2,656 t (25.3%) と続いている。届出移動量は、廃棄物としての移動が 4,834 t (99.8%) とほとんどを占めている。昨年度までは大気への排出と廃棄物としての移動がそれぞれの大半を占めていたが、今年度の届出においては事業所内の埋立としての届出量が大幅に増加した。
 排出量・移動量フロー



(2) 届出排出量・移動量の媒体別割合

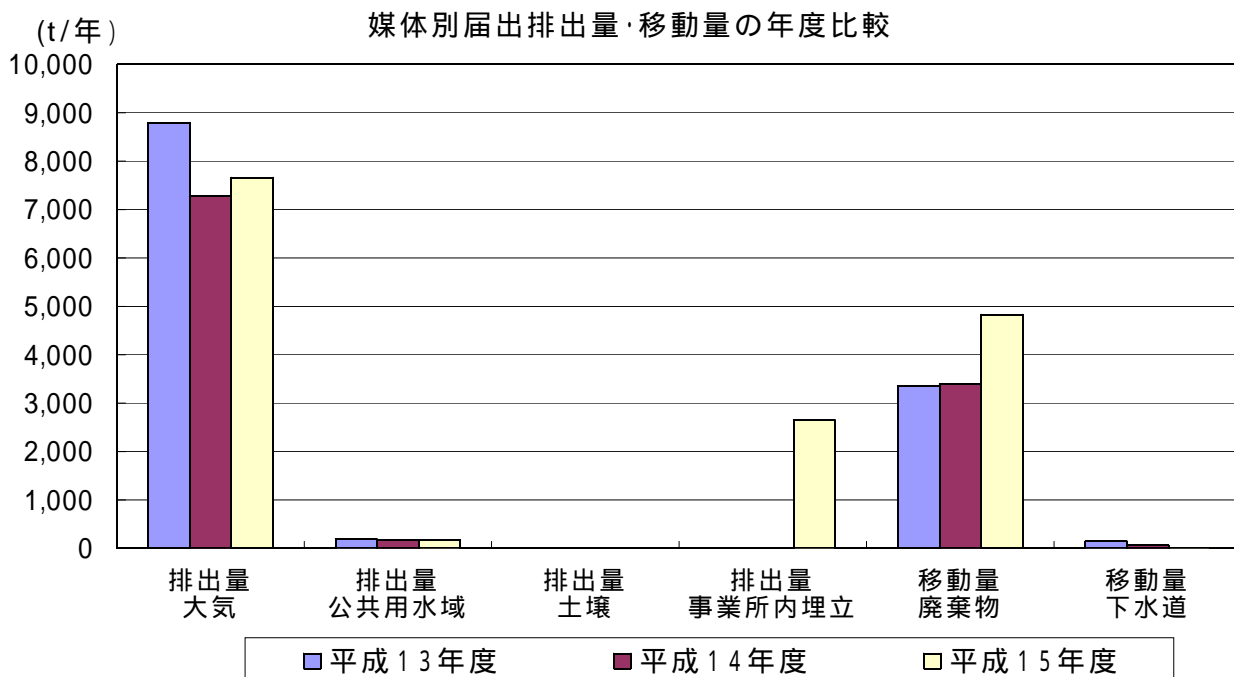
届出排出量・移動量の媒体別割合は大気への排出が 50.0%、廃棄物としての移動が 31.5%、事業所内埋立が 17.3%であった。

前年度に比べ、大気への排出割合が減少(前年度 67.5%)し、事業所内埋立の割合が増加(前年度 0.0%)した。



(3) 媒体別の届出排出量・移動量の年度比較

平成15年度は、届出排出量では事業所内埋立量が、届出移動量では廃棄物としての移動(事業所外への移動)量が大幅に増加した。



- (4) 県内及び全国において届出された排出量・移動量の上位5物質
 県内では、昨年と比較して亜鉛の水溶性化合物が4位に入ってきたが、全国の状況は昨年度と同じであった。

順位	岐 阜 県			全 国		
	物 質 名	排出量・移動量 (トン/年)	前年度比	物 質 名	排出量・移動量 (トン/年)	前年度比
1	トルエン	3,773	126%	トルエン	169,680	100%
2	二硫化炭素	2,400	100%	キシレン	60,442	102%
3	ジクロロメタン	1,633	122%	ジクロロメタン	33,946	101%
4	亜鉛の水溶性化合物	1,420	10900%	マンガン及びその化合物	32,890	112%
5	キシレン	1,193	120%	鉛及びその化合物	17,704	106%
	その他の物質の合計	4,910	155%	その他の物質の合計	215,402	112%
	全物質の合計	15,329	140%	全物質の合計	530,064	106%

物質の主な用途

- トルエン : 合成原料、溶剤等
- 二硫化炭素 : セロハン製造時の加硫促進剤等
- ジクロロメタン : 金属脱脂洗浄剤等
- 亜鉛の水溶性化合物 : マンガン乾電池電解液、鉱山での精錬
- キシレン : 合成原料、溶剤等
- トリクロロエチレン : 金属脱脂洗浄剤、溶剤等
- マンガン及びその化合物 : 特殊鋼、電池等原料
- 鉛及びその化合物 : バッテリー、光学ガラス、顔料等原料、鉱山での精錬

- (5) 届出排出量・移動量の圏域別割合
 圏域別では、西濃圏域が40.3%と高い割合を示している。

平成15年度 届出排出量・移動量の圏域別割合

